

Harmony English Logic and Expression III

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(Task 1, 2)のような形で表しています。参考にお使いください。

1st Zone: Living Environment and Town Planning

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を適切に使い、名詞に説明を加える（後置修飾）ことができる。 ・自分が住んでいる街や住んでみたい街について、分析的視点で説明したり、より住みよい街にするためにできることを英語でまとめることができる。 ・「魅力ある未来の街づくり」をトピックにしてプレゼンテーションをすることができる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
		L1: Task, Share L2: Task 1, Task 2	L2: Share L3: Presentation	L1: Write L2: Task 3, Write L3: Write and Share
知識・技能	目標	〈知識〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を使った名詞の後置修飾について理解している。 〈技能〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、伝え合う技能を身につけている。	〈知識〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句について理解している。 〈技能〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、魅力ある未来の街づくりについて話す技能を身につけている。	〈知識〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句について理解している。 〈技能〉 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて書く技能を身につけている。
	a	関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を適切に用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を適切に用いて、魅力ある未来の街づくりについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を適切に用いて、魅力ある未来の街づくりについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b 関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、何とか英語で伝え合うことができる。	c 助けがあれば、関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、魅力ある未来の街づくりについて、何とか英語で話すことができる。	c 助けがあれば、関係詞、不定詞（形容詞用法）、前置詞句を用いて、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、何とか書くことができる。
思考力・判断力・表現力	目標	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	目標 魅力ある未来の街についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	目標 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、論理的に詳しく書くことができる。
	a	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a 魅力ある未来の街についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、話して伝え合うことができる。	b 魅力ある未来の街についての情報を話すことができる。	b 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、何とか話して伝え合うことができる。	c 助けがあれば、魅力ある未来の街についての情報を話すことができる。	c 助けがあれば、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	目標 魅力ある未来の街について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	目標 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	a	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 魅力ある未来の街について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、伝え合う姿勢が見られる。	b 魅力ある未来の街について、話そうとする姿勢が見られる。	b 自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分が住んでいる街や住んでみたい街について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c 助けがあれば、魅力ある未来の街について、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c 助けがあれば、自分が住んでいる街や住んでみたい街、未来の街づくりについて、何とか書こうとする態度が見られる。